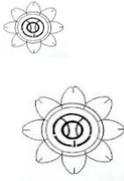




歯車

今年
は
西里小創立150周年



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 齋藤 恒治

令和7年12月25日

nishizato



150周年の節目の歳 みなさまの今年の漢字は？



年の瀬を迎え、今年も残すところわずかとなりました。

今年度、本校は創立百五十周年という大きな節目を迎えました。

7月の夏祭りや10月の記念式典・県警察音楽隊による記念演奏

会では、地域の皆さまに多数ご来校いただき、盛大に開催できましたこと、心より感謝申し上げます。また、各種行事の実施にあたり、日頃より多大なるご理解とご協力を賜りましたことにも、重ねて感謝申し上げます。

学習の場面においても、地域の皆さまに「先生」としてご協力いただき、子どもたちの学びは一層深まりました。こうした温かな地域性が、子どもたちの健やかな成長を支えてくださっていることを、改めて実感しております。

さて、今年の漢字は「熊」と発表されましたが、皆さまにとっての今年を表す漢字は何だったのでしょうか。本校にとっては、人と人とのつながりの大切さを改めて感じる一年となり「脈」だったのではないのでしょうか。伝統と歴史が脈々と受け継がれている、そんな思いをもったところでした。

今後、学校統合により西里小学校の名はなくなりますが、これからも西里の心意気を大切にしていまいります。

皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。

心のSOSをどのように出していくか、どのように受け止めていくか…

「SOS出し方、受け止め方講座」

12月3日（水）に、授業参観・学級懇談会が行われました。その一つとして5年生では子ども達を対象とした「SOSの出し方講座」を開催し、講師に、河北町スクールカウンセラー西塚かずみ先生をお迎えして実際の場面を想定しながら、お互いに話す・受け止めるという演習も行いました。心のSOSの出し方を学ぶことができました。その後、保護者を対象とした「受け止め方講座」が引き続き行われました。何かと忙しさに翻弄されてしまう「大人」ではありますが、子ども達がSOSを出した時の受け止め方と寄り添い方について学びました。



未来を担う子ども達の心の安定は、健やかな成長には不可欠です。みんなで支え合い、励まし合いながら生きていくことは、社会全体の幸せにつながるのかもしれない。

筆にこめる思い～書き初め教室

12月10日(水)と17日(水)の2回にわたり、町内在住の板坂佳奈江先生をお迎えして、3年～6年生の子ども達に書き初めのご指導をいただきました。筆の運び方や文字のバランスなどについてご指導いただきました。



お米の収穫に感謝、田んぼの先生方に感謝

12月9日(火)に、5年生の田んぼの学習の集大成として、「収穫感謝の会」が開かれました。4名の田んぼの先生方をお迎えして、自分たちが調理した「おにぎり」と「豚汁」でおもてなししました。調べたことの発表やソーランの演舞などで、自分たちの思いを表現していました。



税の大切さを知る～6年生租税教室

12月12日(金)に6年生を対象に、山形税務署安達瑞穂さんをお迎えして、租税教室が開催されました。

わたし達の生活と税の関わりや税の持つ意味などを学びました。1億円のレプリカを手にして、お金の重さとともに税の持つ意味を考える良い機会となりました。



1月の予定

- 8(木) 3学期始業式 書初め大会
一斉下校・通学路点検
- 13(火) 避難訓練
- 15(木) PTA三役会
- 16(金) 子ども文庫 職員会議
- 21(水) 1・2年チューブすべり
- 22(木) 代表委員会
- 23(金) 3年校外学習(警察署)

★2月5日(木)

就学時オリエンテーション

★2月13日(金)

授業参観・子育て講演会・PTA全体会等

年末年始休業

12月24日(水)～1月7日(水)

12月27日～1月4日は閉庁です。

緊急連絡は学校携帯へお願いします。

(080-7661-4542)